



大鳥中学校 3 年生の保護者の皆様へ

7 月 8 日に 3 年生を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。



認知症の知識だけでなく、認知症の人の気持ちを考え認知症の人と接する時のポイント

「4つのない」驚かせない・急がせない・自尊心を傷つけない・否定しない を学びました。

ぜひ、講座の内容について、ご家庭で話題にさせていただき、どんなことを学び、感じたのか・・・お子さんの言葉を聞いてみてください。



認知症高齢者への対応方法については、寸劇で実践しました。ご飯を食べた事を忘れてしまった時、道に迷ってしまった時、ものを盗られたと思い込んだ時、認知症の人にどの様に対応したら良いか、包括職員が演じる悪い例を見てもらった後、良い例を特別出演の生徒さんと藤井先生に実演して頂きました。

❖ オレンジリングの贈呈 ❖

飯坂町公式マスコットキャラクターの「ゆげお」から生徒の皆さんへ認知症サポーターの証であるオレンジリングを贈呈しました。ぜひ通学バックなど日頃から身に付ける物につけて持ち歩きましょう。



道に迷った高齢者へ大鳥中生が声を掛けている場面



高齢化率と認知症について

2025 年には 65 歳以上の高齢者の約 5 人に 1 人が認知症になると予測されており、認知症は年を取れば誰にでも起こりうる脳の病気です。高齢者だけでなく65歳未満の働き盛りの方も発症する「若年性認知症」があります。認知症の本人と、介護者である家族の様々な相談窓口がありますが、どこに相談したら良いかわからない場合は、まずはお気軽に、今回、認知症サポーター養成講座を行った「福島市飯坂北地域包括支援センター」へお問合せください。



裏へ続きます→

【お問い合わせ】

福島市飯坂北地域包括支援センター TEL 024-573-6077





認知症サポーター養成講座受講後アンケートをご紹介します



高齢者に対しての接し方は、優しい口調、視線を合わせ、否定しない、厳しく言わない等を学んだので、これからは対応、接し方をしっかりする。

おばあちゃんと一緒に住んでいるので、もしおばあちゃんが認知症になったら今日学んだ対応をしたいし、予防も一緒にしたいと思いました。



少子高齢化が進み、介護職が減っているので高齢者との接し方の重要性、また、接する方法を教えてもらって良かったです。

今まで誤解していたことや、わからなかった接し方などを教えてください、ありがとうございました。楽しい講演会でした。ゆげおがゲスト出演してくれてうれしかったです。

認知症になった人は自覚があることが知らなかったのが勉強になりました。

これから認知症の人がいたら助けたいと思います。

今まで認知症の人は特別扱いしなければいけないと思っていたけど、普段の生活でいつも通り過ごすことが大切だと知った。

もし、家族や親せきが認知症になってしまったら、今日習った対応の仕方を実践しようと思いました。そして、学んだことを家族に教えて、良い対応ができる人を増やしていきたいです。



聞くだけでなく、実際にやってみたりして楽しかったです。ゆげおさんも来てくれてうれしかったです。

大鳥中学校の3年生のみなさん

アンケートへのご協力ありがとうございました。

「福島市飯坂北地域包括支援センター」は飯坂町・中野・茂庭地区の高齢者・住民の方々の総合相談窓口です。介護・医療・福祉の専門職が対応致します。



【相談内容】

認知症などの健康のこと、生活の中で困っていること、介護に関すること、詐欺被害に合ってしまった、金銭・財産管理に不安がある、成年後見制度の利用の他、介護が大変そうな方がいる、など さまざまな相談に対応します。

【お問い合わせ】

福島市飯坂北地域包括支援センター

住所：飯坂町中野字高田前 2-16（社会福祉法人けやきの村内）

電話：024-573-6077

